



【写真：2009(平成21)年第7回会合 グループディスカッション】

これまでに、ASEAN諸国から240名以上がASEAN日本社会保障ハイレベル会合に参加し、活発な議論が行われているほか、会合への参加をきっかけとして、保健分野と福祉分野という異なる分野における協力の強化に向けた取り組みがASEAN諸国で活発になってきているなど、着実に成果をあげてきています。国際協力室では、引き続き積極的にASEAN日本社会保障ハイレベル会合を実施し、社会保障分野におけるASEAN諸国と日本の緊密な関係をさらに発展させることを目指しています。

保健・医療／働く環境の向上

★国際労働機関(ILO)-世界保健機関(WHO)協働によるASEAN地域の健康確保対策事業★ (2008(平成20)年度～2010(平成22)年度)

保健行政と労働安全衛生行政の両者を所管する厚生労働省の特徴を活かし、産業保健が課題とされているベトナムにおいて、現地政府及びILO・WHOの効果的な連携により、疾病の減少・労働安全衛生水準の向上・保健分野人材育成等を通じて、ASEAN地域全体の産業保健推進体制の構築を支援しています。

